

青森県の農林水産業の概要

特徴・取組

青森県は、本州の最北端に位置し、三方を日本海・津軽海峡・太平洋に囲まれ、大型の内湾である陸奥湾がある。

中央には、八甲田連峰が連なり地形的な複雑さや海流などの影響により、津軽地方と県南（南部）地方では、気候が大きく異なる。

津軽地方は、夏は比較的好天に恵まれ、冬は季節風の影響で雪が多く、県南（南部）地方は、夏は冷たいヤマセ（偏東風）が吹くが、冬は晴天の日が多く雪が少ない。

県内総生産（平成30年度）を産業別にみると、第3次産業が74.8%、第2次産業が21.0%、第1次産業が4.7%となっている。

第1次産業の内訳は、農業が4.0%、林業が0.1%、水産業が0.7%である。

青森県の農業産出額（令和2年）は、3,262億円で東北第1位（全国第7位）であり、内訳は、野菜が25%、果実が28%、米が17%、畜産が27%となっている。

津軽地方では、米とりんご、県南（南部）地方では、米及び畜産、野菜（主に根菜類）が重要な地位を占めている。

りんごは、国内生産量の約6割を占めており、販売額では7年連続で1,000億円を超え、台湾を中心に年間約2万5千トン（令和2年産）を輸出している。

漁業では、いか類の漁獲量が全国1位、ほたてがいの生産量が全国2位となっている。

青森県では、消費者起点に立った安全・安心で優れた県産農林水産物や加工品を生産し、売り込んでいく販売を重視した振興策である「攻めの農林水産業」を展開している。

米では、「青天の霹靂（へきれき）」がけん引役となり、業務用米として評価が高まっている「まっしぐら」の生産が拡大している。

水田農業の再構築に向けて、「青天の霹靂」のブランド力の強化や飼料用米・高収益野菜等の導入による需要に応じた米生産等を推進している。

新たなブランド商品として、「青い森紅サーモン」と「青森きくらげ」がデビューした。生産者や研究機関と連携し、ブランド名称及び統一的なロゴマークの決定や出荷基準の設定により、生産・販売体制を整備するとともに、デビューセレモニーの開催、県内メディア等を通じてPR展開している。

お客様から支持され選ばれる商品の創出、農商工連携や6次産業化による付加価値の高い商品づくり等を推進している。

主な農林水産物

りんご

津軽地方を中心に栽培され、食味や品質で高い評価を得ている。台湾をはじめアジア地域に輸出されている。（収穫量全国1位）



にんにく

主に県南地方で栽培され、大玉で1片が大きく、雪のような白さが特徴の「福地ホワイト」という系統が生産されている。（収穫量全国1位）



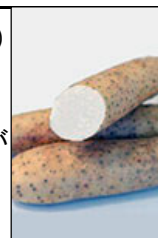
ごぼう

主に「偏東風（ヤマセ）」が吹く夏季涼やかな県南地域で栽培され、香りや風味が良く、身が締まっているのが特徴。（収穫量全国1位）



やまのいも（ながいも）

「ガンクミジカ」と呼ばれる系統が広く栽培されており、粘りが強くアクが少ないのが特徴。近年は、アメリカや台湾に輸出されている。（収穫量全国2位）



あおもり和牛（黒毛和牛）

あおもり倉石牛、三戸・田子牛、十和田湖和牛などの銘柄牛があり、中でも倉石牛は数々のコンクールでチャンピオンに輝くなど、高い評価を得ている。



ヒバ

県の木に指定されているヒバは、「日本三大美林」のひとつに数えられ、耐湿性、耐久性に優れ、建築材に利用されるほか、工芸品や家具が作成されている。



ほたてがい（養殖）

陸奥湾を中心に養殖で生産されている。ポイル加工品等も国内で利用されているほか海外にも輸出されている。（収穫量全国1位）



いか類

するめいかは県内全域で、一本釣りで定置網などで漁獲され、あかいかは太平洋の沖合域で一本釣りで漁獲されている。（漁獲量全国1位）



しじみ

主要産地の十三湖、小川原湖は味と品質から全国ブランドになっている。各漁業協同組合ではトレーサビリティ体制を整備している。（漁獲量全国2位）



ひらめ

県の魚に指定され、栽培漁業や資源管理型漁業の推進により、漁獲量の安定化につなげている。（漁獲量全国2位）



青森県内の各地域における農林水産物

東青（とうせい）地域

【農畜産物】 水稻、トマト、りんご、フサスグリ（カシス）、ねぎ、ほうれんそう、肉用牛、鶏卵、生乳
 【林産物】 ヒバ、スギ
 【水産物】 コンブ、ヤリイカ、ミズダコ、クロマグロ、スルメイカ、ホタテガイ

下北（しもきた）地域

【農畜産物】 水稻、だいこん、ぱれいしょ、夏秋いちご、かぼちゃ、アピオス（ほどいも）、生乳、肉用牛
 【林産物】 ヒバ、スギ
 【水産物】 スルメイカ、ホタテガイ、サケ・マス類、コンブ、カレイ、ヒラメ、クロマグロ

西北（せいほく）地域

【農畜産物】 水稻、りんご、ぶどう、メロン、すいか、だいこん、やまのいも（ながいも）、花き、豚、肉用牛
 【林産物】 ヒバ、スギ
 【水産物】 ワカメ、シジミ、スルメイカ、サケ・マス類、カレイ類・ヒラメ、メバル、ヤリイカ

上北（かみきた）地域

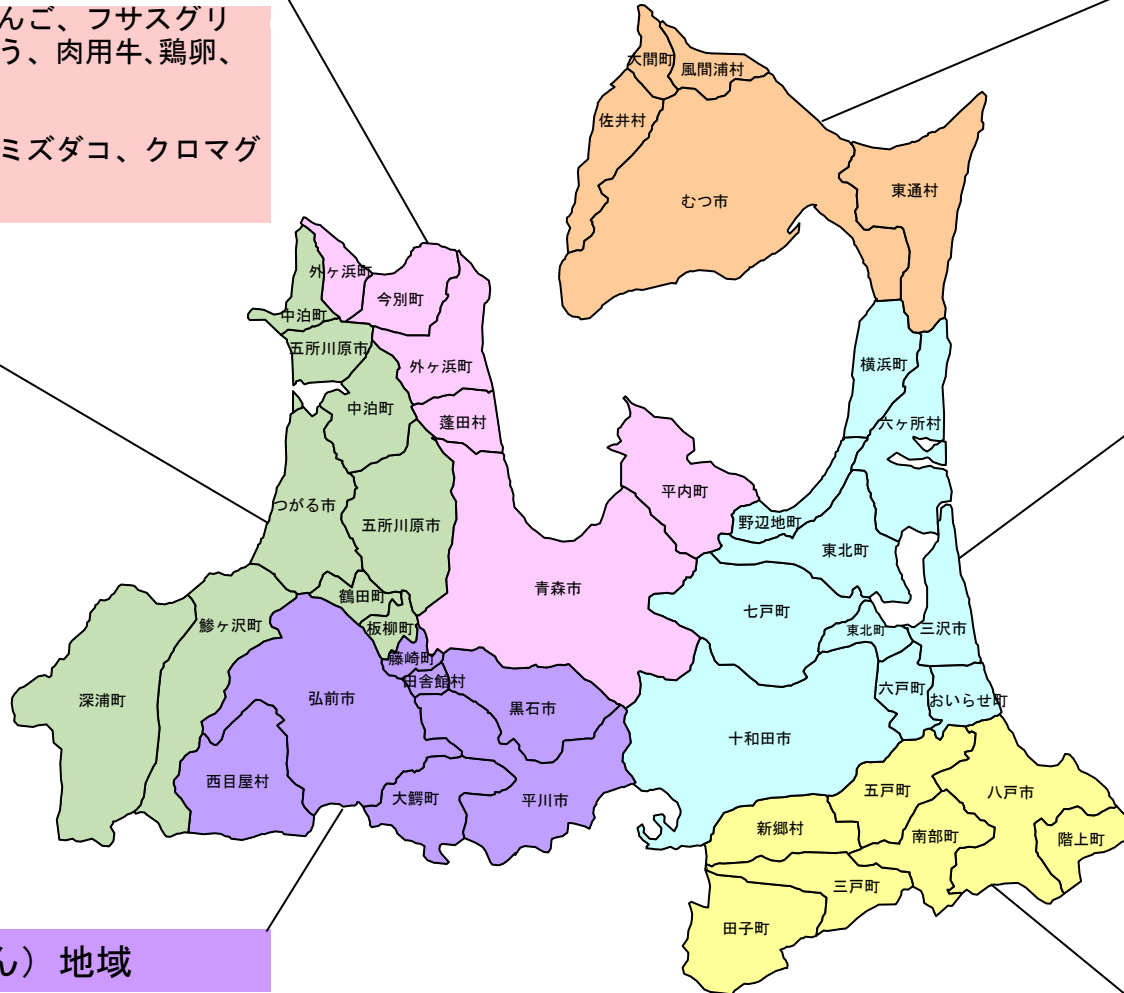
【農畜産物】 水稻、やまのいも（ながいも）、にんにく、だいこん、ごぼう、かぶ、肉用牛、鶏卵、青森シャモロック
 【林産物】 スギ、アカマツ、しいたけ
 【水産物】 スルメイカ、ホタテガイ、サケ・マス類、カレイ類・ヒラメ、ホッキガイ、シジミ、ワカサギ、ヒメマス、なまこ

中南（ちゅうなん）地域

【農畜産物】 りんご、水稻、にんじん、だいこん、とうもろこし、もやし、ぶどう、花き、トマト、ミニトマト、にんにく、鶏卵、青森シャモロック、豚
 【林産物】 スギ、山菜

三八（さんぱち）地域

【農畜産物】 水稻、やまのいも（ながいも）、葉たばこ、にんにく、食用ぎく、きゅうり、ねぎ、ごぼう、いちご、おうとう（さくらんぼ）、りんご、花き、鶏卵、プロイラー、肉用牛
 【林産物】 スギ、アカマツ、えのきだけ
 【水産物】 スルメイカ、イワシ類、サバ、サケ・マス類、コンブ



青森県の農業（1）

- ・耕地面積は14万9,600haで国第4位、うち樹園地が2万2,200haで2位。
- ・担い手への農地の集積面積は8万6,332haで全国第4位。
- ・基幹的農業従事者数は4万8,083人で全国第7位。内訳は、男が2万6,576人で8位、女が2万1,507人で4位。

耕地面積

区分	青森県	全国	全国順位
耕地面積	149,600 ha	4,349,000 ha	4
田	79,200 ha	2,366,000 ha	10
畑	70,400 ha	1,983,000 ha	3
普通畑	35,100 ha	1,126,000 ha	7
樹園地	22,200 ha	263,200 ha	2
牧草地	13,100 ha	593,400 ha	3
参考) 総土地面積	964,562 ha	37,797,463 ha	8

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	青森県	全国	全国順位
荒廃農地面積	5,503 ha	281,831 ha	21

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	青森県	全国	全国順位
担い手への集積面積	86,332 ha	2,535,115 ha	4
集積率	57.6 %	58.0 %	11

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	青森県	全国	全国順位
農業経営体数	29,022 経営体	1,075,705 経営体	13
法人経営体	646 経営体	30,707 経営体	20
総農家数	36,465 戸	1,747,079 戸	23
販売農家	28,062 戸	1,027,892 戸	13
参考) 世帯総数	511,526 世帯	55,830,154 世帯	31
集落営農数	180 集落営農	14,490 集落営農	29

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	青森県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	48,083 人	1,363,038 人	7
男	26,576 人	822,144 人	8
女	21,507 人	540,894 人	4
65歳以上	29,326 人	948,621 人	9
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.0 %	69.6 %	-
認定農業者数	9,493 経営体	233,806 経営体	5
法人数	486 法人	26,080 法人	23
参考) 総人口数	1,237,984 人	126,146,099 人	31

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

青森県の農業（2）

- ・ 農業産出額は3,262億円で全国第7位。内訳は、果実が906億円で1位、畜産の鶏が411億円で5位。
- ・ 農畜産物の生産状況は、りんご、にんにく、ごぼう及びフサスグリ（カシス）が全国第1位、やまのいも（ながいも）、なたねが2位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家民宿の経営体数が80経営体で全国第4位。

農業産出額

区分	青森県	全国	全国順位
農業産出額	3,262 億円	89,557 億円	7
米	548 億円	16,551 億円	11
麦類	0 億円	521 億円	28 *
雑穀	1 億円	77 億円	11
豆類	11 億円	712 億円	13
いも類	27 億円	2,391 億円	13
野菜	821 億円	22,520 億円	9
果実	906 億円	8,741 億円	1
花き	17 億円	3,080 億円	40
工芸農作物	32 億円	1,553 億円	10
その他作物	16 億円	697 億円	10 *
畜産	883 億円	32,279 億円	10
肉用牛	144 億円	6,863 億円	14
乳用牛	93 億円	9,310 億円	18
生乳	83 億円	7,798 億円	16
豚	224 億円	6,596 億円	11
鶏	411 億円	8,724 億円	5
鶏卵	179 億円	4,577 億円	9
ブロイラー	217 億円	3,621 億円	4 *
その他畜産物	13 億円	787 億円	5
加工農産物	0 億円	436 億円	43

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	青森県	全国	全国順位	
りんご	収穫量	R2	463,000 t	763,300 t	1 *
にんにく	収穫量	R2	14,300 t	21,200 t	1
ごぼう	収穫量	R2	48,000 t	126,900 t	1
フサスグリ（カシス）	収穫量	R1	8 t	11 t	1
やまのいも（ながいも）	収穫量	R2	57,900 t	170,500 t	2
なたね	収穫量	R3	318 t	3,260 t	2 *
だいこん	収穫量	R2	115,700 t	1,254,000 t	3
かぶ	収穫量	R2	6,840 t	104,800 t	3
食用ぎく	収穫量	H30	106 t	801 t	3
西洋なし	収穫量	R2	1,720 t	27,700 t	3 *
葉たばこ	販売重量	R2	1,486 t	13,748 t	4 *
ブロイラー	出荷羽数	R3	42,029 千羽	713,834 千羽	4 *

出典：「果樹生産出荷統計」、「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産出荷実績調査」、「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「畜産統計」、「葉たばこ販売実績（府県別）」（全国たばこ耕作組合中央会）

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	青森県	全国	全国順位	
農産加工	総額	11,992 百万円	946,841 百万円	24
	事業体数	730 事業体	32,400 事業体	14
農家民宿	総額	37 百万円	5,409 百万円	28 *
	経営体数	80 経営体	1,360 経営体	4 *
農家レストラン	総額	275 百万円	35,696 百万円	36 *
	事業体数	10 事業体	1,360 事業体	35 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

青 森 県 の 林 業

- ・ 林野面積は62万5,842haで全国第9位。内訳は、国有林が38万463haで2位。
- ・ 林業産出額は、78.6億円で全国第15位。内訳は、木材生産が74.4億円で7位。
- ・ 林産物の生産状況は、ねまがりたけが全国第1位、わらびが6位。あかまつ・くろまつが2位、すぎが4位。

林野面積

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林野面積	625,842 ha	24,770,201 ha	9
国有林	380,463 ha	7,153,338 ha	2
民有林	245,379 ha	17,616,863 ha	30
人工林面積	269,438 ha	10,203,842 ha	12

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林業経営体数	678 経営体	34,001 経営体	19
法人経営体	117 経営体	4,093 経営体	9

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林業産出額	78.6 億円	4,286.4 億円	15
木材生産	74.4 億円	1,943.7 億円	7
栽培きのこ類生産	2.9 億円	2,259.6 億円	44

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
素材生産量	894 千m ³	19,882 千m ³	7
針葉樹	831 千m ³	18,037 千m ³	7
あかまつ・くろまつ	71 千m ³	570 千m ³	2
すぎ	701 千m ³	11,663 千m ³	4
広葉樹	63 千m ³	1,845 千m ³	8
ねまがりたけ	生産量 25.0 t	83.8 t	1
わらび	生産量 20.3 t	509.9 t	6

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
工場数	70 工場	4,115 工場	31
製材用素材の入荷があった工場数	70 工場	4,067 工場	31
国産材のみ	67 工場	3,237 工場	24
国産材と輸入材	3 工場	653 工場	38

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

青 森 県 の 漁 業

- ・ 漁業経営体数は、海面漁業経営体数及び内水面漁業経営体数とも全国第3位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業でいか類・くろまぐろが全国第1位。海面養殖業でほたてがいが1位。
- ・ 漁業者等による生産関連事業は、水産物の加工の年間販売金額が119億4,700万円全国第4位。

漁船隻数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,860 隻	132,201 隻	9
動力漁船	2,749 隻	69,920 隻	8

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,702 経営体	79,067 経営体	3
内水面漁業経営体数	406 経営体	4,772 経営体	3

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	8,395 人	151,701 人	3
男	6,921 人	134,186 人	3
女	1,474 人	17,515 人	4

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	527 億円	13,484 億円	6

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	172,491 t	4,182,983 t	5 *
海面漁業漁獲量	91,117 t	3,213,334 t	10
いか類	18,557 t	82,180 t	1
くろまぐろ	1,581 t	10,816 t	1 *
海面養殖業収穫量	81,374 t	969,649 t	4 *
ほたてがい	80,164 t	149,061 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,364 t	50,832 t	4 *
内水面漁業漁獲量	3,300 t	21,745 t	3 *
しじみ	2,326 t	8,894 t	2 *
内水面養殖業収穫量	64 t	29,087 t	27 *
にじます	54 t	3,858 t	14 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位	
水産物加工	総額	11,947 百万円	175,132 百万円	4
	事業体数	40 事業体	1,500 事業体	9
水産物直売所	総額	1,060 百万円	36,489 百万円	12 *
	事業体数	30 事業体	800 事業体	11 *
漁家レストラン	総額	187 百万円	11,822 百万円	18 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

あおもり米新品種「はれわたり」のデビューに向けた取組

青森県産業技術センター農林総合研究所が開発した、主食用米新品種「青系196号」の名称を「はれわたり」に決定した。

品種特性を発揮できる生産指導体制を整備するため、栽培適地の検討や高品質・安定生産技術の確立を進め、栽培マニュアルを作成した。

令和4年度は、令和5年の本格的デビューに向けて、生産指導の拠点となるほ場を設置し、気象や生育に応じた栽培管理技術を実際に生産者に見てもらい、作付意欲の醸成を図る。



はれわたり(青系196号)の現地検討会



知事による名称発表

りんご産地の労働力確保対策

りんご産地における農業者の高齢化や労働力不足を受けて、平成28年に相馬村農協とつがる弘前農協をモデルとして、関係機関と連携を図りながら労働力確保対策に取り組んだ。

具体的には、アンケート調査や関係機関を参集した労働力確保推進会議での意見交換のほか、募集チラシを生協、市等へ設置するとともに、農業者のための労務管理研修を実施した。

現在は、本取組をりんご関係農協にも広げ、募集チラシを作成して援農者と生産者のマッチングを実施している。



令和3年の募集チラシ



援農者の収穫作業